

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和04年06月24日(金)

1. 基本事項

施策		商工業の振興		期間	平成30年度～令和4年度	施策担当部課名	産業振興部 商工振興課
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち	目的・対象	深谷市の商工業の振興を目的とする。 商店街振興、工場立地促進、起業支援等行う。		
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり				
	小項目	1	商工業の振興				
	主要プロジェクト						
重要度・満足度	本施策は、重要度も満足度も低い状況。これは必要なサービスは享受できるが、市内で買物物が完結しない、満足するだけの価値のある財やサービスが供給されていないと感じる市民が多いためと考える。			施策推進のための主な取組	中小企業経営の安定化と成長を支援 商店街のにぎわいづくりを支援 企業誘致・留置への取り組み 起業しやすい環境づくりへの取り組み		
施策を取り巻く社会状況等	全国的に景況感は改善傾向にあり、中小企業の経常利益も高水準にある一方で、売上高の伸び悩みや人手不足、高齢化といった課題が顕在化している。また人口減少に伴い国内市場の縮小が懸念される。						

2. 評価指標

上段は目標値、下段は実績値

区分	指標名(上段) 算出式・説明(下段)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				一部達成	一部達成	未達成	未達成	
成果指標	法人市民税額	百万円	-	1,370.00	1,383.00	1,395.00	1,408.00	1,420.00
	市内の法人市民税(均等割と法人税割の合計)		1,556.00	1,483.00	1,379.00	1,175.00	1,270.00	
	新たに誘致した企業数(累計)H18.6以降の累計数	社	-	56.00	60.00	64.00	68.00	72.00
	工場等立地促進事業者指定申請書		53.00	54.00	60.00	61.00	62.00	

3. 一次評価(今後の施策の方向性)

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
<p>成果指標をみると、法人市民税は目標値よりも138百万円低いものの、昨年度よりも95百万円上昇している。この結果については、新型コロナウイルス感染症の影響から徐々にではあるが回復傾向にあることが窺える。令和3年度は事業者に対し事業継続のための支援や、新型コロナウイルス感染症対策のための支援を行った。今後も社会情勢に対応した施策を進めたい。</p>				
				評価者 商工振興課長 岩田 展雄

4. 改善改革プラン(3. 一次評価を受けての具体的な解決策)

区分	具体的な対応策等
<input type="checkbox"/> 既存事業の拡充	ウクライナ情勢等による原油高等の影響もあり、依然として市内事業者は厳しい状況が続いている。原油高に対処する支援策など、商工業の活性化に向けた施策を実施していきたい。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価(所属長の見解)

<p>これまで国・県・市が実施してきた感染症対策の効果もあり、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和されつつある。しかしながら、ウクライナ情勢等による原油価格高騰で市内経済は依然厳しい状況にあり、引き続き商工業者への支援策を続けるとともに、コロナ後も見据えた商工振興策を実施していきたい。</p>	
所属長	産業振興部長 佐藤 靖彦